

管工事組合青年部自主ボランティア

去る六月十一日、山鹿市管工事組合青年部会のメンバー七名が二班に分かれて山鹿市の公衆トイレを水廻れ等の不具合がないか調査して回りました。

管工事組合青年部は年齢四十五歳未満で山鹿市管工事事業協同組合の組合員又はその子弟若しくは組合に所属する社員で構成され、現在の会長は高松孝一氏。

この度のボランティアをしようと思いついたきっかけは会長が公衆トイレを使用した際ボタボタと水漏れがしているのを見たときに「これはいけない！」と思い自分たちのプロの腕を生かし、日ごろの感謝の意を込めてトイレの調査と簡単な修理を行おうというものだったそうです。この意見には会員の皆さんもすぐに同意され早速この事業に対して計画書を作られました。

調査対象は湯の端公園やカルチャーセンター、大宮公園など計二十カ所です。そのうち大きな修理が必要だったトイレは六カ所ほどあったそうです。

会長以下会員の皆さんもこのボランティアを通して公衆トイレをもっと大事に使ってほしいと訴えられています。

トイレ調査の様子



八千代座のトイレでの調査

カルチャーセンターでの調査

無事終了。お疲れ様でした!

管工事組合青年部会のホームページは<http://www.yamakan.or.jp/s/>です。たくさんの方のアクセスをお待ちしています。

ありがとうございました
 ...ボランティア活動 6月11日

私立保育研究会山鹿部会(代表八玉保育園井垣久美)の清掃活動がありました。

当日は95名の保育士が参加し、市内のカルチャースポーツセンター周辺、国道325号の沿線など、各所のごみ拾いをしました。この部会は、「みんなで育てよう山鹿の子」をスローガンに山鹿地区9つの保育園で組織して、初めてのボランティア活動となりました。

山鹿市全域に広がりいろいろな活動ができるように頑張りたい。(代表井垣保育士)

↓

山鹿市管工事事業協同組合青年部会(会長高松孝一)の点検活動がありました。

当日は、7名の会員で手分けして、山鹿地区にある20カ所の公衆トイレを回り、便器や手洗いの蛇口の点検、修理、清掃などを行いました。

作業中の各トイレでは、使用者への配慮と点検を行っていただき、作業を行いました。

▲優しく蛇口の点検をする会員